プリンセス 小公女セーラ

第24話

『エミリーの運命』

AR台本

企画 制作 日本アニメーション株式会社

プリンセス

小公女セーラ

第二十四話 『エミリーの運命』

登場人物

セーラ……………島本須美
ミンチン……………中西妙子
アメリア……………梨羽由記子
アーメンガード……………八百板万紀
ロッティ……………渡辺菜生子
ベッキー……………鈴木三枝
ラビニア……………山田栄子
ジェシー……………飯塚はるみ
ガートルード……………佐々木るん
ディファルジュ……………上田敏也

ジェームス……郷里大輔
モーリー……向殿あさみ
レーフ・クルー……銀河万丈
クリステル……
リンダ……
ドルシラ……
ペネラビ……
ダイアン……
ジェイン……

カメラ	画面		音声
1	作業場でアイロンをかけているセーラ		
2	あて布をしてアイロンをかけているセーラの手		
3	作業を進めるセーラ 大きく溜息をつき、手でひたいを拭くセーラ はっとなって振り返るセーラ		S・E　（終業の振鈴が鳴る） S・E　（扉が勢良く開く音）
	A・C		
4	一歩室内へ入るモーリー 柳眉を逆立てる		モーリー「もオ〜〜、まだかい!! なにをぐずぐずしてるんだよ。生徒さんたちは、 〜 授業は終わって、もう飾り付けが始まるんだよ! さあさあ……早く支度を手伝っとくれ!」
5	振り返り、にやっといやみたっぷりに		セーラ「ハイ……モーリーさん」 モーリー「フン……返事ばかりは達者なんだから……」

	6	7	8
手前から手に、みがいた靴をもって入ってくるベッキー モーリー、手にとって見て ポンと返すモーリー	上目使いに、こっくりと叩頭するベッキー	遊戯室の入口に立って見守るミンチンを眺めている本を抱えたディファルジュ 扉をしめて手前に歩くミンチン	廊下を行く二人
ベッキー「……みがき終わりました……」 モーリー「……フゥ～ン、ラビニアさんも喜ぶだろうよ」	ベッキー「……ハイ！」	生徒たちの騒ぐ声「危いわよ!!」「あわてないでよ!!」「しっかりもっててね……（etc）」 ミンチン「……丁寧に美しく飾るのですよ!!」 生徒たち「ハーイ!! 院長先生!!」 ミンチン「ラビニアさん……貴方は着がえがあるのですから…それ位にしてね……」 ラビニア「ハーイ!!」	ミンチン(off)~(on)「ディファルジュ先生も、是非御出席を……」 ディファルジュ「ええ……喜んでお呼ばれにあ

	地下の階段から登ってくるセーラ　手にアイロンをかけた衣類と靴を一足もっている		ずかります……」 ミンチン(off)「生徒たちも喜びますわ」 S・E　（扉の開閉音）
9	廊下に出て来て、にぎやかな声がきこえるので遊戯室の方を見て止まる はっとなる		
10	丁度、扉をしめて出て来たラビニアと目が合う　—間— 目線をそらすセーラ		
11	微笑する—表情元に戻して手前に歩くラビニア		
12	セーラ、階段の方へ行こうとする はっとなって止まるセーラ		ラビニア(off)「セーラ！」
13	傍に来てセーラをのぞき見るよ		

	うにするラビニア うつむいたまま叩頭するセーラ にやりとするラビニア、セーラの前に回りこむ くるりと振り返るラビニア うつむいていたセーラ、顔をあげてラビニアを見る 同時にラビニア、手前にあるき出る		ラビニア「それ……私のね」 セーラ「ええ……！」 ラビニア「私の部屋へ届ける所だったんでしょ」 セーラ「ええ……」 ラビニア「丁度いいわ……持って来て」
14	きどって歩いていくラビニア 見送るセーラ		
15	見送るセーラ		
16	きどった姿で階段の方へ歩くラビニア、階段に一歩足をかけて止まる		
17	様子をうかがうセーラ ラビニアの方へ歩き出す にやりとして階段を昇り出すラビニア		

18	昇るラビニア、昇ってくるセーラを見下ろして、にやりとする		
19	三Ｆの階段を、うす笑いを浮べて昇ってくるラビニアとそれに続くセーラ		
20	アイロンをかけられた洋服とみがかれた靴		
21	扉の前で振り返るラビニア 後にセーラ、目を伏せている ニヤリとするラビニア、扉をあける ラビニア、入っていくのを見送るセーラ 一瞬ためらうが入って扉をしめる		ラビニア「入ってよ」
22	キドッタ、ポーズで御気嫌になってくるくる回っていくラビニア		ラビニア「フフフ……」

23	くるくる回るラビニア	←～
24	扉の前に立って唖然として見つめるセーラ	
25	くるくる回るラビニア	
26	踊るラビニアを唖然と見つめるセーラ 椅子に手をかけ止まるラビニア 髪の毛大きくゆれる	
	A・C	
27	髪の毛大きくゆれて止まる 髪の毛のみだれを手で大きく直す　椅子にもたれかかり、にくたらしい感じでにっこりと笑う	ラビニア「……あなた…今日がどんな日だか知っているでしょ」
28	うなづくセーラ	セーラ「…お誕生日ね…あなたの……」
29	椅子からはなれキドッタポーズをとりながら歩き　尻で止まる 目でラビニアを追っているセーラ	ラビニア「じゃ…これから何が始まるかも聞いている筈ね」 セーラ「…ええ……」

30	ちろりと後のセーラの方に目だけ動かし、うす笑いを浮べ目を元に戻し宙を見るラビニア…見つめていたセーラ、はっとなる　くるりとセーラの方に振り返るラビニア		ラビニア「…なら…話が早いわ……！」
	A・C		
31	くるりと振り返り見つめて、ね、というように笑いを含んだ口許をして首を振る		ラビニア「…パーティの着がえ手伝って頂載………」
32	凝然とした表情で見つめるセーラ		
33	反応を示さないセーラに軽蔑の笑いに口許をゆがめて前に出る		ラビニア「（あ〜ら）どうしたの？……
34	セーラの前に来て、ひにくな笑いを浮べて		……あなた、この学院の生徒のために働くメイドになったんでしょ」
35	じっと見つめていたが目をおとすセーラ　うなづき笑いをうかべた顔で横		ラビニア「…だったら……私の為に働いてくれ

カット	内容		台詞
	を向き勝ち誇ったように 下を見たままのセーラ		たっていい筈よねエ……」 セーラ「…あなたは……どうしても私を…… 自分のために働かせたいのね」
36	くるりとセーラの方向いて のぞきこむように		ラビニア「そうよ！……いけなくて……？」
37	顔を上げるセーラ		セーラ「…それ程、私を憎んでいるの？…… そんなに私をいじめたいの？」
38	見つめ合う二人 おかしさをこらえるが肩で笑う ようにして手前に来ながら 笑いをこらえるそぶりから故意 に笑い出すラビニア 後から見つめるセーラ		ラビニア「ク…クックック…ク……！ あなたを憎んでるですって……？ フフ……フフ…… やめてよ。 ……そりゃ、あなたがプリンセスみた いに扱かわれた頃は、少しは憎らしい と思った事もあったかも知れないわ… でも、今は、あなたは台所メイドよ そして、私はこの通り特別室にいる代 表生徒よ……」
	A・C		
39	後姿でセーラの方を盗み見るよ うにして		
40	目線を送るセーラ		off
41	椅子に座るラビニア		

	42	43	44	45	46	47	48
テーブルの花をとり A・C	匂をかぐ セーラの方を向いて	ラビニアを見つめているセーラ T・U	ニヤリとする	じっと見つめるセーラ	バラをテーブルに置き、さっと 立ち上がるラビニア	じっと見つめるセーラ	遊戯室 だんろの前を（HAPPYBIRTDAY RABINIA） とかかれた板を持 ってくるクリステル、ジェシイ
	ラビニア「…なぜ……あなたを憎む必要がある の……?!」		ラビニア「…あなたは……私のために働く立場 になっただけよ……」		ラビニア「…さ！……パーティの着変えするの …手伝って……！」		

49	窓のさんに赤いリボンをつけようとするガートルード 取りつけたとたん、片いっぽうがズレ落ちる ガートルード、下の方を見て		ガートルード「ロッティ、しっかりつけてよ」
50	ロッティ、半べそである イスを運ぶアーメンガード		ロッティ「だってえ、手がくたびれたんだもん」
51			ロッティ「そんなに、おこらないでよー」
52	ニラム、ガートルード		ガートルード「ムム……」
53	ロッティ、泣き出す		ロッティ「エ〜ン、エ〜ン」
54	あきれたガートルード 泣くロッティ、一層はげしく 声に振り向くアーメンガード		ガートルード「また泣く……なき虫なんだから……」 ジェシー(off)「アーメンガード！」
55	看板をとりつけようとしている ジェシー		ジェシー「早くそっち終わらせてよ、間に合わないじゃないの！」

56	イスを並べているアーメンガード		アーメンガード「そ、そんなこといったって、私だって急いでいるのよ」
57	ジェシー、怒鳴る		ジェシー「グズ！ 早くしなさいってばー！」
58	アーメンガード		アーメンガード「やってるってばー」
59			ロッティ「ウワーン、ウワーン」
60	泣くロッティ イスを持ったままのアーメンガード　あきれたジェシー、ガートルード 赤いリボンを用意している他の先徒		
61	ゆり椅子にかけられたラビニアの脱いだ普段着		
62	手鏡に映るラビニアの髪にリボンを飾っているセーラ		

63	ラビニアの髪に髪飾りをつけるセーラ		
64	セーラの表情をうかがうラビニア　ラビニア、意地悪く		ラビニア「違うわ、もっと右よ！」
65	髪かざり動かすセーラの手のUP		
66	ラビニア、セーラを気にしながら		ラビニア「もっとよ、そう、それでいいわ」
67	髪飾りをつけるセーラ ブラシをとり前髪をときためつすがめつするラビニア		
68	鏡の中のラビニア チラッとセーラを見て		ラビニア「どお、私、綺麗に見えて？」
69	セーラ、少し離れて具合を確めてから ラビニア、ブラシをおろして		セーラ「ええ、とても綺麗よ」

70	ギロリとセーラを見て		ラビニア「あなたの誕生日の時と、どっち」
71	おどろくセーラ		セーラ「えっ！」
72	ラビニア、立ち上がって つめよるラビニア 下がるセーラ、目を下におとす にらむラビニア		ラビニア「どっちが綺麗なのよ」 セーラ「そんな事、私には判らないわ」
73	イライラしているラビニア セーラをにらむようにして ラビニア、身をのり出して		ラビニア「わたし、あなたの口から聞きたいのよ。 さあ、言うのよ」
74	弱々しい表情の顔を上げるセーラ うつむいていく		セーラ「私……自分を、ほかの人よりきれいだと思った事はないわ」
75	満足そうな笑みを浮べてうなづくラビニア		ラビニア「そう……それで決まったわね……」
76	?! となってラビニアを見るセーラ		
77	笑いを浮べているラビニアを見		ラビニア「…じゃ、私のために手を借して！」

	つめるセーラに手を出す		
78	?! となるセーラ		セーラ「え……?!」
79	のぞき見るようにセーラを見るラビニア		ラビニア「…あなた、この間、屋根裏部屋でアーメンガードたちと、こっそりパーティをやろうとしてミンチンさんに捕ったでしょ……?!」 ←〜〜
80	唖然となるセーラ		
F〜A 81	セーラ、アーメンガード、ロッティ、ベッキーが待女になっている場面		ラビニア(off)「あなたたち王家の待女になったつもりだったんですってね」
82	じっとラビニアを見つめるセーラ		
83	満足そうな微笑が浮び頷くラビニア		ラビニア「…あの時の続きをさせてあげるわ」
84	怪訝そうな表情のセーラ		

85	差し出している手　T・U		ラビニア「あなたを、私の待女にしてあげるのよ。さ、手を借して！」
86	じっとラビニアを見つめている セーラ　—間— うつむいていく		
87	三階廊下 ラビニアの部屋の前、シーザー がFr・inしてくる シーザー、画面の方を見て		シーザー「ニャーオ」 S・E　（ガチャ）
88	扉が開き、シーザー、扉の方を 見て　セーラに左手を持たせた ラビニアが出てくる シーザーに気付いて立ち止まる 扉をしめるセーラ		
89	シーザー、鋭くラビニアをニラ ンで		シーザー「ウニャーオ」
90	ラビニアもシーザーを見返す		

91	ラビニア、ちらっとセーラの方を確めて頷きセーラに合図を送る　セーラ、歩き出す		
92	ラビニアの手をとったセーラ		
93	セーラとラビニアの手		
94	奥へ進むセーラ、ラビニア シーザー、二～三歩前へ出て		
95	得意顔のラビニア FOLLOW↖ゆっくり		
96	↗FOLLOW　セーラ		
97	階段をおりて行く二人Fr・out 見ているシーザー		
98	見ていたシーザー、　ガリガリつめを立てる 付けPAN		

98	99	100	101	102	103A
一Ｆのカイダンに現れる二人 しずしずと下りる	うつむき加減に下りるセーラと 昂然と下りるラビニア ＦＯＬＬＯＷ	廊下をいく二人　ーＳＬー 二人、outしてⓂスタート	アメリアの後姿が見えている遊 戯室　オルガンをひいているア メリア セーラに手をとらせてラビニア Fr・in　そしてＦＯＬＬＯＷに なる	アメリアが見てようが見ていま いが気にせず手をふりふりする ミンチン	じ〜っと見ているディファルジ ュ

カット	内容	台詞
103B	奥へ進むラビニア 途中でセーラの手をはなす	
104	進むラビニア 口惜しそうに見送るセーラ	
105	不承不承、歌っているアーメンガード	
106	中央で女王のように止るラビニア しばらくして唄がやむ うやうやしくスカートつまんで おじぎをすると生徒たち拍手！ ラビニア、右手前を見ると ミンチンin 生徒たちもミンチン見る	
A・C		
107	ミンチン　立ち上がるアメリア	ミンチン「では、みなさん……わが学院の代表生徒ラビニアさんのお誕生日をお祝いして、心から喜びの言葉をお送りましょう」
108		一同「おめでとう、ラビニア」

109	110	111	112	113A	113B
ラビニア、目をあけてはまちっこラスト、ミンチンの方へゆっくり顔うごかす	ミンチン、うれしくびっくりンマ〜！	ニッコリ、ジェシー&ガートルード　又、顔もどす		ロッティ、チラチラ、セーラを見る　しずんでいるアーメンガード　わきおこる拍手！ アーメンガードとロッティは少々おくれる 一同、ラビニアの方へ集まる ガートルード、チラッと動かないセーラを見て	セーラをつきとばしつつ駆けよる
ラビニア「ありがとう、みなさん。 今日は私のために、ミンチン先生はじめ、みなさんに、すばらしい誕生会をひらいていただき かんしゃのことばもありません……。 私は、この誕生会を みなさんの、思い出にのこるすばらしい日にしたいと思います。 すばらしいパーティーを、ありがとうございます」				一同「ワ〜〜、おめでとう（etc）」	

No.	内容		セリフ
114	それを見ていたラビニアに近づくガートルード ガートルードin ガートルード見てニヤニヤ		ガートルード「おめでとう、ラビニア〜」 ラビニア「フフフ……アリガト！」 一同、他「オメデトウ（etc、ガヤガヤ）」
115	おだてられてうれしいミンチン		ミンチン「さあさあ、みなさん。今日は夕方まで自由時間にしますのでおもいっきりたのしんで下さい」
116	一同、ワ〜ッとなる		一同「ワ〜っ」
117	おもしろくないアーメンガードとロッティ		生徒(off)「これ私からのプレゼントよ」 ジェイン「これは、私からよ」
118	プレゼントうけとりつつラビニア、二人に気づく		ラビニア「ありがとうジェイン」
119			生徒「ラビニア、おめでとう（etc、ありがとう…）」
120	ジェシーin　からかうように ロッティ、ぶすっとout		ジェシー「あんたたちは、おくりものをしないの？」 アーメンガード「そんなことは……」

121A	ロッティinしてつきだす ラビニア、いじわるくつまんで うけとる ロッティ、又もどる		ラビニア「ありがと、ロッティ」
121B	ジェシー、アーメンガードの背 中おしながらout ロッティ、通りすぎる		ジェシー「さあさあ……」 アーメンガード「わかってるわよ」
122	もとの場所にもどって、うつむ いて止まる　そしてセーラの方 へ身体をむけ、顔をかなしそう に起こす		アーメンガード(off)「おめでとう……」 ラビニア「アリガト、アーメンガード」
123	見つめるセーラ 弱々しくにっこり		
124	見つめるロッティ		
125	ぽつんと立っているセーラ ロッティを遠くから、ほほえん でなぐさめる アーメンガードinして、やさし		

	くロッティの肩に手をおく セーラ、アーメンガードにうながづいて立ち去ろうとすると		
126	ラビニア、ミンチンに、にっこりと		ラビニア「院長先生！ お願いがあります」
127	ビックリして顔を見合わすロッティとアーメンガード		
128	ミンチン、明るい笑い顔で		ミンチン「なんですのラビニアさん」
129	出口へ向かっていたセーラ、ふりかえる A・C はっとなって止まるセーラ		ラビニア(off)「実は……このパーティにセーラをいさせてあげたいのですが……」 生徒たち(off)「えっ」
130	びくっとおそれるセーラ		
131	ミンチン、今度こそびっくり アメリアと二人でセーラを見る		ミンチン「セーラを」 生徒(off)「(小声で)ボソボソ」
132	ラビニア、セーラをチラッと見て		ラビニア「はい、セーラはついこの間まで私たちのクラスメートでした。きっと、こ

	生徒たち遠くからセーラを見る	のパーティーにも
133	おののくアーメンガードとロッティ　セーラからラビニアを見る	(off) 出たかったにちがいありません！ 私、可哀想なセーラを 普通り仲間に入れてあげたいのです」
134	もはや力なくうなだれるしかないセーラ　しかしロビルをギュッとかんで自分をささえる	
135	まんぞくミンチン、顔上げてセーラを見て、思わずセーラにもやさしく	ミンチン「まあ〜、なんと言う思いやりでしょう……。セーラ……ラビニアさんの思いやりに感謝しなければいけませんよ……」
136	セーラ、力なく	セーラ　「はい、院長先生」
137	ジェームス、荷物をひっぱり出しおろす	ジェームス「よっこらせっと」
138	学院表 ジェームス、モーリーが荷物を受けとっている	

	こしをのばすジェームス		ジェームス「ふ～、やれやれ」
139	手前へ進むラビニア		ラビニア「セーラは、ぜひ私の誕生日祝いをさせてほしいと云ってくれたんです」
140	セーラVSラビニア		ラビニア「ありがとうセーラ、でもプレゼントのことで無理しなくていいのよ」 セーラ「えっ」
141	ラビニア、セーラにやさしいセリフはく　T・U		ラビニア「あなたのいらなくなった物でも、よろこんでお受けとりするから気にしなくていいのよ」
142	セーラ、顔上げ		セーラ「……」
143	ラビニア、おだやかな表情から急に表情けわしくなり他の人間に気ずかれぬよう小声で そして、にやり		ラビニア「…例えば……ある古い人形でもね……」
144	セーラも思わず小声で		セーラ「エミリーの事を言ってるのね」
145	ミンチン、うかれたまま（やりとりが聞こえてない）		

146	ラビニア、他の生徒に聞こえるようにチラッと見てから、にっこりと　T・U		ラビニア「ええ〜、ちっともかまわなくてよ」
147	バック中O・Lでサッとま黒へ		
148	T・U		
149	口唇をかみしめうつむいているセーラ、静かに目線を上げていく		
150	口をゆがめた、いやらしい笑いを浮べるラビニア		
151	うつむいていくセーラ 悲痛な顔である		S・E　（扉のひらく音）
152	扉開いてモーリー、顔出して 叩頭するモーリー		モーリー「院長先生、ラビニアさんに荷物がとどきましたが……」 ミンチン「ラビニアさんに……」 モーリー「はい……」

153	ミンチン、ラビニアを見て ラビニア、ミンチンを見てうなづく ミンチン、モーリーの方を見て合図をおくる		ミンチン「こちらに運んでもいいわね、ラビニアさん」 ラビニア「ハイ、院長先生」 ミンチン「…モーリー、運び込んで……」
154	モーリー、うなづいて扉を大きくあけて廊下の方へ言う ジェームス、大きな木箱を運び入れる		モーリー「ハイ…ジェームス！」
155	手前にくるラビニア　荷物を見る		ラビニア「パパからです!!」
156	ミンチン、ラビニアに		ミンチン「お誕生日のプレゼントでしょう」 アメリア「何かしらねえ、ラビニアさん」 ラビニア「院長先生、ここで開けてみてもいいでしょうか」 ミンチン「ええ、いいですとも……ジェームス、といておあげ」
157	ジェームス、箱をほどき始める 生徒たち、にぎやかに集まって		ジェームス「ハイ、院長先生!!」

	くる セーラ、後に退く		
158	うつむいて考えこんでいるセーラ		生徒の声「（わいわい、ガヤガヤ）」
159	わいわい騒ぐ生徒を後から背のびしてのぞくロッティとアーメンガード		
160	興味を示し、のぞき見るミンチンとアメリア		
161	見つめるディファルジュ、心配げな顔		
162	騒ぐ生徒たちと、うつむいているセーラ　T・U セーラの顔がちらり上がる		生徒の声「わーい！」
163	目をくりくりして見る一同 ラビニア、得意そうに眺め回す ミンチン、入ってきて眺め回す		ラビニア「院長先生！……これで、皆と前の広

	一同、観声を上げる	場で遊んでもいいでしょうか」 ミンチン「ええ…ええ、今日はあなたの誕生日ですからね……」 一同「わーい！」
164	わいわいいいながら出ていく一同 のこるディファルジュ、セーラ、アーメンガード、ロッティ セーラに近づくロッティとアーメンガード	
165	セーラの手にすがるロッティ 心配げな表情で 首を振る二人 二人、顔を見合わせて不承不承に出ていく　振り返り見送り笑う　元に戻りうつむいていくセーラ	ロッティ「セーラまま……エミリーあげちゃうの？」 アーメンガード「セーラ……いけない！　エミリーをあげては……」 セーラ「…遊びにいって……」 セーラ「行かないと仲間はずれにされるわ」

166	じっと見つめているディファルジュ		
169	三階への階段 手摺りつかまりながら力なく昇っていくセーラ		
167	うつむき悲痛な顔で昇るセーラ		
168	階段を昇り終わり、重い足どりの足が行く		
170	屋根裏部屋 扉開いてセーラ入って来て閉める		
	A・C		
171	閉め終わり振り返り机の方を見るセーラ、はっとなる		
172	椅子に座っているエミリー T・U		
173	じっと見つめて曇る眉		

	かみしめられる口唇		
174	エミリー人形		
175	さっと手前に走るセーラ		セーラ「エミリー！」
176	走っていきひざまづくより早く エミリーを抱きしめるセーラ		←〜〜
177	ひしとエミリーを抱くセーラ		セーラ「……エミリー……ラビニアが…… ラビニアが あなたを……」
178	髪の毛をかきむしるように、もがく指 指の間にゆれる髪の毛		
179	エミリーに頬をつけているセーラ		
180	明るい顔で振り返るセーラ		セーラ「エミリーよ……エミリーがいたの……!!」
181	クルー、手前へ		クルー「え……!!」
182	飾り窓を見る父と娘		セーラ「お父様！見て!! エミリーよ!!」

183	飾り窓の椅子に座っているエミリー		
184	台詞なしにして、じっと見つめるセーラにします		
185	じっと見つめるクルー		
186	エミリー		
	O・L		
187			セーラ「……あなたは……あなたは……お父様の最後の想い出だったのに……」
188	がっくりとくずれるセーラ		
	O・L		
189	エミリーを抱き、じっとこらえているセーラ		
190	クルー		
191	部屋の中のセーラ		S・E (ジャンプのいななき、馬車の音)
192	奥へ行く馬車		

193			セーラ「お父様！」
	O・L		
194	エミリーのC—UP		
195	エミリーを抱きしめているセーラの目に溢れている泪 T・U　目に一杯の泪 ひしとエミリーを強く抱きしめるセーラ		セーラ「…そして……お父様が亡くなった時も……私…あなたを手放そうとはしなかったのに……」
	O・L		
196	エミリーを抱いて立っているセーラ		
197	ふり返るミンチン		
198	哀願するセーラ		セーラ「お願いです、エミリーだけは取り上げないで下さい。一緒に連れて行かせて下さい……」
	O・L		
199	エミリーをじっと見つめるセーラ　目に溢れる泪 つつーと流れおちる ぐっと抱きしめる		
	A・C		

200	頬を寄せ合うセーラとエミリー 流れるセーラの泪	A・C		
201	エミリーを抱くセーラ			セーラ「……ゆるして……!!　エミリー!!」
202	机の上の写真等			
203	エミリーを抱きしめ泪を流しているセーラ			
204	エミリーを抱きしめているセーラ T・B			S・E　(扉の激しく開く音)
205	ドア開いてベッキー、入ってくる はっとなり、扉をしめて勢良くセーラの方へ			ベッキー「おじょうさま!」
206	泪をためたセーラ、振り返り言うと同時に顔を元に戻してエミリーを抱きしめる 勢良く傍に来たベッキー、はっとなって止まる	A・C		セーラ「(弱々しく)ベッキー」

A・C

207	じっと口唇をかみしめて、おこったような表情で見つめるベッキー	
208	かすかに震えているセーラの肩	
209	エミリーを抱きしめているセーラを見つめ、いかりがこみ上げてくるベッキー 拳を握りしめ、片手はスカートを握っている　震える口唇 セーラの傍へ座りこみ、こわい顔をしてセーラをにらむベッキー　セーラ、ベッキーを見る	ベッキー「…そ…そんな！……いけません!!」
210	形相すごいベッキー 必死になってセーラに話す	ベッキー「…エミリーちゃんをあげるなんて……！」 セーラ「……?!」 ベッキー「いま…お話しをききました。……ラビニアさんは、お嬢さんを困らせようと、いじわるしてるだけです!!」
211	目に一杯の泪を浮べてうなづく	セーラ「…ええ…それは判っているわ……」

	212	213	214	215	216
エミリーに頬をよせるセーラ スーと流れる泪	ぐっとのり出し、セーラの肩に手をかけるベッキー 必死な、たのみは今にも泣き出さんばかりの状態である	悲しそうにベッキーを見るセーラ	震える口唇 じっとセーラを見つめるベッキー	じっと泪の一杯たまった目でベッキーを見つめて 震える口唇　溢れてくる泪 振り切るように背を向ける	A・C がっくりと手を床につき、うなだれるセーラ 消然となってうつむくベッキー
でも……」	ベッキー「いいえ！……あんな方の云いなりになることなんかないんです！」			セーラ「ベッキー……私だって…私だって…エミリーを、あの様な人に渡すなんて……。……でも……！」	セーラ「…他に…どう出来るって云うの……」 ベッキー「…それは……」

217	うなだれ、泪を流すセーラ 落ちる泪	
218	床に落ちる泪	
219	口惜しさに、にぎった手が震え ているベッキー	
220	エミリー	
221	—間—	
222	エミリーを見つめながら…目に 泪が一杯	セーラ「…判って、エミリー……あなたと、 もうお別れするしか仕方がないのよ…」
223	エミリー 引きよせられるエミリー	←〜〜〜
224	強く強く抱きしめるセーラの目 から溢れ流れる泪	
225	ベッキー、うつむいたまま	ベッキー「……」

226	扉開いてエミリーを抱いたセーラ、出てくる 廊下に出て止まりエミリーを強く抱きしめる 部屋の中で振り返るベッキー 重い足どりで去るセーラ はっとなって立ち上がるベッキー
227	寝ているシーザー 扉開いて出てくるセーラ のっそりおき上がるシーザー セーラの先に立って歩き出す 閉めるセーラ
228	かみしめた口唇 うつむきぎみに歩くセーラ FOLLOW
229	階段をおりていくシーザー in〜out
230	階段を曲がって下りていくセー

	ラ　三Ｆの手摺に走り寄りセーラに向って叫ぶベッキー		ベッキー「お嬢様！」
231	ベッキーの声に反応を示さず下りていくセーラ		
232	下をのぞき見ていたベッキー さっと階段を下り始める		
233	下りて来て、はっとなり止まり 出窓の方へ行くセーラ シーザー、見送っている 踊り場に現れるベッキー		S・E　（生徒の騒ぐ声）
234	窓より見える木立の間を自転車にのり、ごきげんなラビニア 周りに生徒たち騒いでいる セーラ、手前から入って見つめる		
235	見つめるセーラ		
236	自転車にのっているラビニア		

	騒ぐ生徒たち		
237	じっと見つめるセーラ ベッキーが、のぞき見る ギュッとエミリーを抱きしめいとほしそうに目を細め頬をすり寄せる 振り返り元へ戻っていくセーラ 出るベッキー		ベッキー「お嬢様!!」
238	止まるセーラ 悲しく首を振りじっと見つめて 前へ出る よけるベッキー		ベッキー「いけません……お嬢様!!」
239	歩いていくセーラ 出てきてじっと見つめるベッキー T・U　目に一杯の泪		
240	公園の中を走るラビニアの乗る自転車　FOLLOW　PAN 自転車と共に走るガートルード、ジェシー		

	騒ぐ生徒たちの間を通り抜けていく自転車 見送っていたロッティ、アーメンガード、ふと気付いて振り返り、アッとなる	アーメンガード「セーラ……（呟き）」 ロッティ「…セーラママ……」
241	エミリーを抱いて立っているセーラ　T・U	
242	一斉にセーラを見つめる一同 前に出ようとして止まるロッティ… 生徒達の前に自転車に乗ったラビニア来て止まる ジェシーがハンドルを支える	ラビニア「あーら……矢っ張りプレゼントする気になったようね」
243	エミリーを抱きしめ、うつむいていくセーラ	
244	ラビニアの乗る自転車を支えているジェシー	ラビニア「有りがとうセーラ……遠慮しないで来たらどう？」

245	うつむいているセーラ		
246	対峙する二人 A・C		
247	ラビニア、自転車より降りてセーラの方へ歩くラビニア		
248	二人、顔を見合わせる 自転車から降りるラビニア		ラビニア「どうしたの……私にそこまで取りに行かせる気？」
249	息をのんで見つめる一同 PAN← 傍のアーメンガードの手をつかみ見上げるロッティ 見下ろし見るアーメンガード 心配げな表情		
250	セーラ前に寄って行って止まる ラビニア うつむいて抱きしめているセーラ ―間― ラビニア、いらいらと手を腰にあてる A・C		

251	A・C 眉をつり上げてキッとなって前に出るラビニア さっと両手でエミリーを奪い取る		ラビニア「フン……ケチケチしないで、さっさと渡しなさいよ！」
252	A・C はっとなって追うセーラ だが一瞬にして思い直し悲しげな表情になっていく		
253	助けを求めるようなポーズのエミリー		
254	差し上げているラビニア、セーラを見つめて口唇をゆがめた笑い　エミリーを見つめるセーラ 力なく手を下ろすセーラ 元に戻る		
255	ロッティ、アーメンガードの手をかたく握りしめ泣き出しそうな表情になっていく アーメンガードもスカートを握りしめ泣き出しそうな顔である		

カット	内容		セリフ
256	悲痛にみちた表情のセーラ T・B		ラビニア「フフフ…… ……折角だから貰っといてあげるわ！」
257	エミリーを下ろし		
258	うなだれていくセーラ はっとなって顔を上げる		ロッティ(off)「だめ！ エミリーをとっちゃーダメー!!」
259	必死の形相で走るロッティ FOLLOW		
260	振り返るラビニアの傍に走りこんで ラビニアにしがみつこうとする ロッティ ロッティを振りはらうように動くラビニア　追うロッティ FOLLOW　PAN→		ロッティ「ダメー！　ダメーよ！」 ラビニア「なに、私のものよ！」 ロッティ「だって……だってエミリーは…… 私の妹だもん……！　ラビニアがとっちゃかわいそうだもん!!」
261	ラビニアのスカートをつかむロッティ		
262	振りほどこうとするラビニア		ラビニア「……はなして!!」

	必死につかむロッティ ロッティを突きはなす 後から走るアーメンガード		ロッティ「返してよ！」 ラビニア「うるさいわねー！」 アーメンガード「やめてー、ラビニア！」
263	ロッティが倒れるところをセーラがひざを折るようにして受け止める		
264	必死の形相で		アーメンガード「…お人形を…エミリーをセーラに返してよ！」 ラビニア「フン……あんた、いつから私にそんな口がきけるようになったのよ?!」
265	キッとなってアーメンガードに向き直るラビニア セーラの手をつかんで肩ごしに合槌をうつロッティ 振り返りロッティをにらみつけるラビニア あわててセーラのスカートに顔をうめるロッティを手で覆うセーラ		アーメンガード「……だって悪いのはあなたよ！……セーラをいじめてるのはあんたよ！」 ロッティ「そうよ、そうよ！……セーラママが可哀そうよ！」

カット	画面		セリフ
266	セーラをにらむラビニア T・B　きっとなって後を見る ラビニア		声 (off)　「お人形は返した方がいいわ」
267	あっとなるラビニア 振り返るアーメンガード 後に集まってくる先徒たち		声　「そうよ、そうよ……」 「あんまりよ」 「よくないわよ、ラビニア！」
268	集まっている一同 PAN→ 後でじっとしているジェシーと ガートルード		クリステル「セーラが気の毒よ！　返した方が いいわ！」 リンダ　「そうよ……大切なもの、とらない方 が……」 ドルシラ「返しなさいよ」 ベネラビ「返してあげて、ラビニア！」 ダイアナ「代表生徒じゃない……」 ジェイン「いじめないで……」（等々）
269	人形を抱く手が強く強くにぎら れていく 口をゆがめたラビニア		←〜〜〜〜〜〜〜

270	うつむいているセーラにしがみつき、セーラと一同の方を交互に見るロッティ	
271	生徒たち一同　T・B T・B止まる　セーラ、アーメンガード、ラビニアを見る 静まる一同	声「（一段と大きくなる―A・D―）」 ラビニア「うるさいわね……！　みんな！」
272	にくにくしげにエミリーを見る ラビニア セーラの方を見る	ラビニア「…フン……なによ…こんな古ぼけた人形……私だって最初から欲しかった訳じゃないわよ」
273	逐に顔を見合わせる　←PAN	
274	エミリーを投げつける	ラビニア「フン……そんなに惜しいなら返してやるわ……持っていきなさいよ!!」
275	エミリー、ロッティに当たる 倒れるロッティ はっとなって、エミリーをひろいあげ頬ずりするロッテッ セーラ、しゃがんでロッティを	ロッティ「エミリー！」

	抱く　顔を見合わせて、にっこりする二人		
276	二人をじっと見つめるラビニア にくたらしい顔をして二人を見下ろしながら行くラビニア		ラビニア「フン……」
277	さっと振り返り にらみつけてプイと正面を見て スタスタとoutしていく		ラビニア「あんたたち、何もたもたしてるの… 行くわよ！」
278	二人、はっとなり顔を見合わせて、あわてて自転車を引いていく		
279	スタスタと広場の出口へ向かう ラビニア 二人、おいついてラビニアに懸命におべんちゃらを使っている プンプンしているラビニア		ジェシー「まって、ラビニアー！」
280	ざわざわしながら、セーラとロッティに目が合わないように去		

	る一同をキョロキョロしながら見るセーラ 茫然として見送っていたが立ち上がり一同の去った方を見るセーラ 振り返るセーラの前に走りこんでくるアーメンガード 二人、にっこりとする ロッティ、立ち上がりエミリーを差し出して		アーメンガード(off)「セーラ……」 ロッティ「セーラママ……」
281	しゃがみこみ、にっこりとしてロッティからエミリーを受け取るセーラ うなづくロッティ、アーメンガードの方を見て		セーラ「ありがとう、ロッティ……ありがとう、アーメンガード」
282	てれたように笑うアーメンガード		
283	エミリーをじっと見つめていたセーラ、泪がにじむ やにはに強く抱きしめる		セーラ「ゆるして……エミリー」

	頬を伝って流れる涙	
284	エミリー	
285	抱きしめ泪を流しているセーラをじっと見つめる二人 声の方を見る三人	モーリー(off)「セーラー」
286	籠を差し上げどなるモーリー	モーリー「さあ…早く買出しに行くんだよ!!」 セーラ(off)「ハイ……モーリーさん!」
287	じっと見つめるディファルジュ先生	←〜〜〜
288	路上の餌を食べている小鳥飛び上がっていく　PAN・UP ↑ダブルデッカーが行く セーラと並んで歩くディファルジュ	ディファルジュ「毎日、よくやっているようじゃね……」 セーラ「はい、ディファルジュ先生!」
289	歩く二人　FOLLOW	ディファルジュ「しかし、セーラ君……どんな事があっても希望を捨ててはいかんよ、

	止まる先生（ＦＯＬＬＯＷ止まる）先生の前へ行き叩頭する		勉強は忘れん事じゃ」 セーラ　「はい……」
290	先生、手にした本を差し出して 受取るセーラ		ディファルジュ「さ、このフランス語の本をあげよう……毎日、勉強を続けるんじゃよ」
291	本を見つめて、うれしそうに胸にだき		セーラ　「有りがとう御座いますー、ディファルジュ先生！」
292	にっこりとうなづき 去っていく先生 見送るセーラ 先生、止まり手をあげる		ディファルジュ「では……ここでお別れしよう……ボンジャンス……マドモワゼル……」
293	手を振り去る先生		セーラⓂ「ディファルジュ先生は、私を忘れてはいなかったのです……
294	去っていく先生 見送るセーラ		……先生の御親切は、私に明るい希望の光を投げかけてくれたのでした」

←〜

295

胸にだいた本を見つめ、顔を上げてにっこりと手を振るセーラ

F・O

(第二十四話・終)